



2023年

加温ハウス サクランボ防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤（水100ℓ当り）		収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 (ℓ/10a)	対象病虫害 (発生病虫害)	注 意 事 項
月 日	【特別散布】 発芽前	(水98ℓ) スプレーオイル	2ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	①【カイガラムシ類幼虫対策】 アプロードフロアブルの1,000倍 (7日前、2回)を加用する。
月 日	【特別散布】 開花前	樹幹散布 フェニックスフロアブル	200mℓ	開花期まで	1回	5～200	コスカシバ	①樹幹部及び主枝に十分散布する。
月 日	開花直前	①展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ サムコルフロアブル 10 40mℓ		前日 前日	3回 3回	350	灰星病(花腐れ) ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	
特別散布：開花期間中に、灰星病(花腐れ等)の発生が心配される場合は、ベルコートフロアブル 2,000 倍(7日前、3 回)を散布する。								
月 日	落花直後 訪花昆虫 引き上げ後	② アーデントフロアブル 25mℓ ナリア WDG 50g		前日 前日	3回 3回	400	灰星病 炭そ病 黒斑病 幼果菌核病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ	① この散布はミツバチへの影響が大きい ため、ミツバチ引き上げ後に散布する。 ② ナリア WDG はぶどう(ピオーネ)洋なし (ル・レクチェ)等に薬害が生じるので飛 散しないようにする。
特別散布：【灰星病対策】ベルコートフロアブルの 2,000 倍(7日前、3 回)【ショウジョウバエ類対策】バイスロイド EW の 4,000 倍(7 日前、2 回)を散布する								
月 日	肥大期 【果実黄化前】	③ オンリーワンフロアブル 50mℓ コテツフロアブル 50mℓ		前日 7日前	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 ナミハダニ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	
月 日	収穫終了後	④展着剤(スカッシュ) 100mℓ エコマイト顆粒水和剤 50g キンセツ水和剤80 100g ダイアジノン水和剤34 100g		7日前 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	せん孔病 ナミハダニ類 ウメシロカイガラムシ アメリカヒロヒトリ ハマキムシ類 アブラムシ類	①エコマイトに代えてダニコングフロアブル の 2000 倍(前日、1 回)を加用する。
月 日	6月中旬	⑤展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ コロマイト乳剤 100mℓ オキシラン水和剤 166g サイアノックス水和剤 100g		7日前 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	せん孔病 ハダニ類 ケムシ類	
月 日	7月上旬 (前回から14日後)	⑥展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200mℓ		前日 21日前	2回 5回	500	褐色せん孔病 カメムシ類 オウトウショウジョウバエ	
月 日	7月下旬 (前回から14日後)	⑦展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ オキシラン水和剤 166g ダイアジノン水和剤34 100g		収穫後～落葉期 14日前	3回 2回	500	せん孔病 アブラムシ類 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ ウメシロカイガラムシ	
月 日	8月上中旬 (前回から14日後)	⑧展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ		21日前	5回	500	褐色せん孔病	
月 日	9月上中旬	⑨展着剤(ハイテンパワー) 10mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ		21日前	5回	500	褐色せん孔病	①コスカシバが発生する場合は、落葉後に ラビキラー乳剤 200 倍(落葉後～発芽前、 1 回)を樹幹部及び主枝に十分散布する。

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

当防除暦の複製・コピーを禁止します

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤